学校番号	Ｔ０１１０

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	３	年次	１
使用教科書	新編国語総合　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	独自プリント等						

１ 担当者からのメッセージ

・欠席することなく、積極的な態度で授業に臨むこと。
・授業は、主にプリントを配付して行う。配付したプリントは必ず保管すること。
・プリントは毎時間点検し、考査前にもそれまでの範囲のプリントを全て点検するので、板書事項は必ず記入し、保管の上復習する態度を養うこと。
・定期考査前には、試験範囲を指示するので、ポイントをしっかりおさえて考査に備えること。

、２ 学習の到達目標

国語の読む力、話す力、書く力の基礎を養いつつ、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	出席状況 授業態度 記述の点検 （プリント教材）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 定期考査 提出作文	授業態度 記述の点検 （プリント教材） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （プリント教材） 定期考査 小テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(4・5・6・7・9)	感動する心	教材: 「メッセージ探しの旅」 「対話からはじめよう」 ・「思いが相手に伝わることの喜び「「対話」の重要性を確認する。 ・どうすれば相手に思いを伝えることができるかということ及び対話の必要性を理解する。 ・目的や場に応じて話したり聞き取ったりする。	○	○	○	○	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 対話の大切さへの理解を深めようとしている b:筆者の主張を読み取り他者の考えを尊重する。 隣の人にわかりやすく話そうとしている。 c:筆者の主張を読み取り、他者にわかりやすく伝えるために、紹介文を書くことができる。 d:メッセージを受け取ることについて筆者の考えを理解している。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を 正しく読み書きしている。	観察 出席状況、授業態度、プリントの記述、定期考査等
	日本語を見つめる	教材: 「漢字の性格」 「漢和辞典の使い方」 ・漢字の性格及び日本語における漢字の働きを知るとともに、漢字を身に付けることの大切さを理解する。 ・漢和辞典を使って漢字の意味を調べることを学ぶ。また、音訓索引、部首索引総画索引の使い分けを学ぶ。	○		○	○	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。漢字の意義や問題点について理解を深めようとしている。 c:漢字の音訓を理解し、漢和辞典を用いて正しく漢字を書き分けることができる。 d:多様な表記を用いるという日本語の特質を読み取っている。 e:表意文字と表音文字の違いとそれぞれの特徴を理解している。	観察 出席状況、授業態度、プリントの記述、定期考査等

後期（10.・11.・12.・1・2・3）	古文に親しむ	・ねずみの婿取り 古典を読むために ・児のそら寝 ・徒然草 公世の二位のせうとに 高名の木登り 奥山に猫またといふもの ・古典に親しみ興味を持つようにする。 ・古典の言葉に慣れ、正しく音読する。 ・歴史的仮名遣いの読み方について一通り学ぶ。 ・古典を読むための知識を得る。 ・正しく音読し、的確に内容を読み取る。	○	○		○	○	a：教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。古文に親しもうとしている。 b:古語を理解し、正しく読むことができる。 d：古典の言葉に慣れ正しく音読している。言葉の意味を確かめながら現代語訳している。話の面白さを理解している。歴史的仮名遣いや重要古語に注意しながら本文を読んでいる。 e：重要な語句の意味を理解している。古典作品が成立当時から現在までさまざまな形で享受されてきたことに理解を深める。	観察 出席状況、授業態度、プリントの記述、定期考査等
	漢文のとびら	・訓読のきまり ・格言 ・故事成語 ・漢文がいかに国語に取り入れられているかを知り、漢文に対する興味を育てる。 ・訓読のきまりを理解する。 ・文章を読んで、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 ・漢文を音読し、漢文に親しむ。 ・漢語の基本構造を理解する。	○	○		○	○	a：漢字や漢文に対する興味関心を高めている。漢文を音読することを楽しみ、意欲的に学習に臨んでいる。 b：現代語訳を確認した上で、格言・故事成語の意味を正確に理解している。 d:訓読の決まりを理解し、正しく読んでいる。 e：返り点、助字、置き字、再読文字などの訓読のきまりを理解している。語句の意味を正確に理解している。	観察 出席状況、授業態度、プリントの記述、小テスト、定期考査等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解